

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

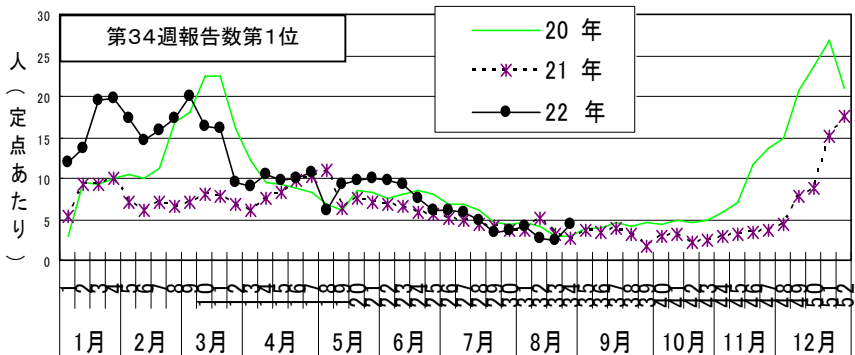
平成22年8月23日（月）～8月29日（日）〔平成22年第34週〕の感染症発生状況

第34週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)突発性発疹でした。

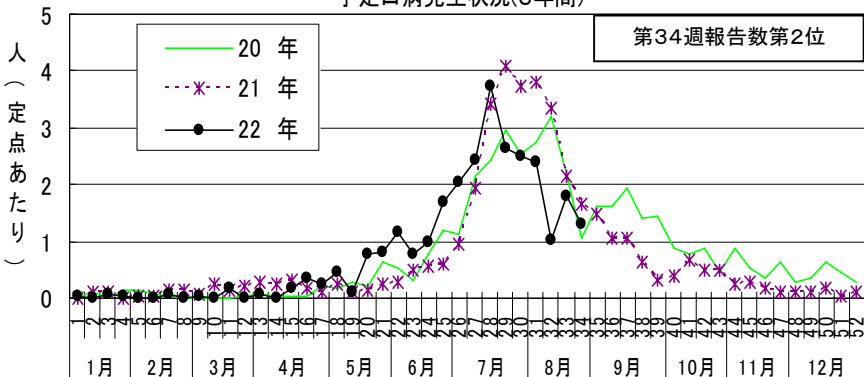
感染性胃腸炎は定点あたり4.30人と前週（2.47人）に比較して患者数は増加しました。手足口病は定点あたり1.30人と前週（1.80人）に比較して患者数は減少しました。さらに百日咳の報告が多摩区から3件、川崎区から1件ありました（患者はいずれも20歳以上）。百日咳は、重症化しやすい乳児に感染させないよう家族内感染等に注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が3件（感染経路：①②③いずれも経口感染、感染地域：①不明②川崎市③不明、血清型：①②③いずれもO157）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



## 咳がなかなかとれないな・・・百日咳の感染源に！？

「咳がずっと続くな・・・。」と思ったことありますか？知らぬ間に百日咳に感染している可能性があります。成人は、感染しても咳が長く続く風邪程度の症状が出るだけで、しばらくすると治ってしまうことがほとんどです。ただし、こども（特に乳児）に感染させてしまうと重症化することがあります。

第34週に川崎市で4名（多摩区3名、川崎区1名）の患者が報告されました。いずれも20歳以上の患者ですが、上記のとおり、家族内感染などで乳児へ感染させないように注意が必要です。

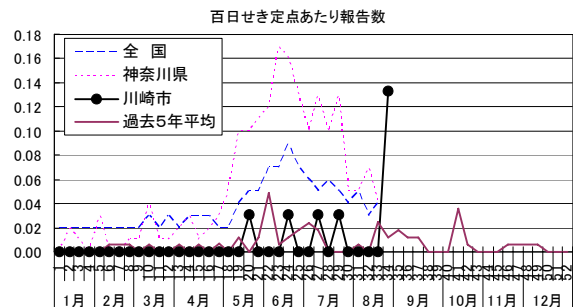
### 百日咳ってどんな症状が出るの？

- 潜伏期：通常7～10日間程度
- 症状：普通の風邪症状で始まり、その後、**特徴ある発作性けいれん性の咳（※1）**が出て、しばしば嘔吐を伴います。発熱はあっても微熱程度です。

※1：顔を真っ赤にして“コンコン”と立て続けに激しく咳き込み、続いて息を吸うときに笛の音のようなヒューという音（笛声）がします

咳は夜間に多く、年齢が小さいほど症状は非定型であり、単に息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展するなど重症化することがあるので、特に乳児で注意が必要です。

激しい発作は2～3週間程度でなくなります。その後も忘れた頃に発作性の咳が出ます。全経過約2～3カ月で回復します。



上のグラフにあるとおり、川崎市においては、平成22年で8名（第34週の4名も含む）の報告がありました。年齢群は15～19歳が1名、20歳以上7名となっています。

### ～乳幼児のいる家庭では 成人の百日咳は要注意！～

百日咳は母親からの移行免疫が有効に働かないため生後2ヶ月未満の乳児でもかかります。成人の百日咳は、軽症で診断が見のがされやすく、気づかぬ間に百日咳菌を排出し、感染源となっている可能性があります。特にこども（新生児・乳児など）がいる家庭内においては、自分が感染源とならないよう注意が必要です。

### 咳エチケットしてますか？

百日咳の感染経路は、患者の鼻咽頭や気管分泌物の飛沫感染（くしゃみや咳など）または接触感染です。咳がでるときには、誰かに感染させないようにマスクを付けましょう！

### 予防接種受けてますか？

百日咳の予防にはワクチン接種が有効です。今一度、母子手帳等を確認し、まだ受けられていない方は接種についてご検討ください。